(11)特許出願公開番号

特開平7-5161

(43)公開日 平成7年(1995)1月10日

(51) Int.Cl.8

酸別記号 广内整理番号

FΙ

技術表示箇所

G01N 30/48

L 8310-2J

COSL 83/10

LRR

審査請求 未請求 請求項の数4 FD (全 9 頁)

(21)出願番号

特膜平4-326039

(22)出願日

平成4年(1992)11月10日

特許法第30条第1項適用申請有り 平成4年5月11日、 社団法人高分子学会発行の「第41回高分子学会年次大 会」に発表 (71)出顧人 391012914

平山 忠一

熊本県熊本市下南部3-11-63

(71) 出願人 000117858

伊原 博隆

熊本県熊本市高平3丁目21-9

(72)発明者 平山 忠一

熊本県熊本市下南部3-11-63

(72) 発明者 伊原 博隆

熊本県熊本市高平3-21-9

(72)発明者 向井 達也

熊本県熊本市黒髪 5 -35-11

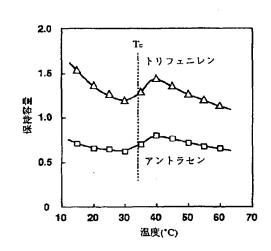
(54) 【発明の名称】 高性能液体クロマトグラフィー用充填剤

(57)【要約】

【構成】 一般式化1(式中の R_1 は水素原子又はメチル基を示す。 R_2 は少なくとも(CH_2) $_m$ C H_3 を含み、mが $3 \sim 2 1$ 、nが $2 \sim 2 0 0$ を示す。)で表される重合物の末端のXを介してシリカゲルに結合した逆相分配クロマトグラフィー用充填剤。

【化1】

【効果】 本発明の充填剤は、分子配向性を利用した分子の形状を識別する逆相分配クロマトグラフィーを提供する。 更に、当該充填剤は溶質分子との好ましくないπーπ相互作用を示さなず、更に、分子配向度の変化を利用して、溶質の保持時間を制御することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 一般式(化1)からなる重合体が、末端*

1

*のXを介して結合したシリカゲル粒子。

【化1】

【請求項2】 化1中のnが2~200からなる請求項1記載の粒子。

【請求項3】 化1中の R_2 が少なくとも、化学構造において(CH_2) $_{\rm II}CH_3$ 基を含み、mが3 \sim 21である請求項1記載の粒子。

【請求項4】 化1中のR₁が水素原子あるいはメチル 基である請求項1記載の粒子。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、新規な逆相分配クロマトグラフィー用充填剤に関する。

[0002]

【従来の技術】液体クロマトグラフィーは、一般に有機化合物、医薬、食品などの分析、分離などにおいて広範囲に渡り利用されている。特に、逆相分配クロマトグラフィーは、対象とする化合物の範囲が広く、分離の機構が単純なために、優れた方法として注目されている。従来の逆相分配クロマトグラフィー用の充填剤としては、例えばシリカゲル表面をオクチル基又はオクタデシル基などにより非極性化された充填剤が知られている。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前記シリカゲル粒子のような充填剤では、分離がシリカゲル上に導入された非極性相と溶離相との間の極性の差だけを利用して行なわれるため、分離対象物質の極性が互いに類似している場合には、良好な分離が達成できない欠点があった。また、分離対象物質の極性が著しく異なる場合や低い場合には、充填剤への過剰な保持が観察され、この場合、分析時間を短縮するためにグラジエント溶出と呼ばれる特殊な分離操作が必要となり、操作が煩雑となる問題点もあった。

【0004】一方、シリカゲルを非極性化する方法とし 40 て、ビフェニル基のような芳香族性の剛直な分子を導入 した例が報告されており、この場合、分離が極性の差だけではなく、分子の芳香族性や形状の差を識別して行なわれている。しかしながら、一般に、充填剤の芳香族性はクロマトグラフィーにおけるピークテーリングの原因となり、好ましくないとされている。例えば、液体クロマトグラフィー用充填剤として、芳香族性の高いスチレンージビニルベンゼン共重合体粒子が知られており、イオン交換体やゲル浸透クロマトグラフィー用充填剤としての利用はあるものの、逆相分配クロマトグラフィー用

充填剤としての利用は極めて限定されている。これは、 スチレンージビニルベンゼン共重合体の芳香族性と溶質 のπ電子との間のπーπ相互作用に基づくピークテーリ ングがしばしば問題となるからである。

[0005] 本発明の目的は、芳香族性の非極性相を用いることなく、分子の形状を識別する逆相分配クロマトグラフィー用充填剤を提供することにある。これは、シリカゲルに担持される非極性相が分子配向性を有することによって達成される。本発明のもう一つの目的は、担持される非極性相が重合物であり、同重合物の片方の末端がシリカゲルに結合した充填剤を提供することにある。

[0006]

【課題を解決するための手段】本発明によれば、一般式 (化1)

【化1】 (式中、 R_1 は水素原子又はメチル基を示す。 R_2 は少なくとも (CH_2) $_{\rm II}CH_3$ を含み、 $mが3\sim2$ 1、好ましくは $8\sim2$ 1を示す。nは $2\sim2$ 00、好ましくは $5\sim5$ 0を示す。) で表される重合物が、末端の Xを介してシリカゲルに結合した逆相分配クロマトグラフィー用充填剤が提供される。

【0007】以下、本発明を更に詳細に説明する。本発明の逆相分配クロマトグラフィー用充填剤は、化1で表すことができる重合物が、末端のXを介してシリカゲルに結合させることによって得られる充填剤である。

【0008】化1中のR1は水素原子又はメチル基であ る。R2は炭素数4~22までのアルキル基を含む置換 基である。前記R2の炭素数が4未満の場合には、疎水 性が小さすぎるために、逆相分配クロマトグラフィー用 充填剤として保持能力が小さくなり、分離性能が悪く好 ましくない。また、前記R2は炭素数が大きいほど、R2 間の分子配向性は高くなり、結果として分離能も高くな るが、炭素数23以上の化合物は原料の入手が難しく、 融点が高すぎるために重合物を得にくいなどの問題があ り、実用性に乏しい。前記一般式(化1)で表されるR 2としては、例えばブチルオキシ基、ヘキシルオキシ 基、オクチルオキシ基、デシルオキシ基、ドデシルオキ シ基、テトラデシルオキシ基、ヘキサデシルオキシ基、 オクタデシルオキシ基などの長鎖アルコールのエステル 残基やブチルアミノ基、ヘキシルアミノ基、オクチルア ミノ基、デシルアミノ基、ドデシルアミノ基、テトラデ シルアミノ基、ヘキサデシルアミノ基、オクタデシルア

2

ミノ基などの長鎖アミンによるアミド残基などを好ましく挙げることができ、使用に際しては単独若しくは混合物として用いることができる。

【0009】化1中のXは、化1で表される重合物をシリカゲルに結合させるための官能基であり、例えばプロピルトリメトキシシリル基のように直接シリカゲルと反応し、結合するものがよい。しかしながら、シリカゲルを予めアミノ化あるいはカルボキシル化やヒドロキシル化している場合には、前記Xにはカルボキシル基やヒドロキシル基、アミノ基を含む置換基を利用することができ、この場合、ジシクロヘキシルカルボジイミドのような縮合剤を用いて、化1で表される重合物をシリカゲルに結合させることができる。化1中のYは、特にクロマトグラフィー特性に影響を与えない残基であれば差しつかえなく、水素原子が好ましく挙げられる。

【0010】本発明において、化1で表される重合物は、最も簡便には、前配R₁とR₂の条件を満たす化2で表されるモノマーをタクソーゲンとし、化3で表すテローゲンを用いたテロメリゼーション法によって得られる。

[0011]

[化2] $CH_2 = C(R_1) CO - R_2$

[0012]

【化3】X- (CH₂) p-Y

【0013】前記R1とR2の条件を満たす化2で表され るタクソーゲンとしては、ブチルアクリレート、ブチル メタクリレート、ブチルアクリルアミド、ブチルメタク リルアミド、ヘキシルアクリレート、ヘキシルメタクリ レート、ヘキシルアクリルアミド、ヘキシルメタクリル アミド、オクチルアクリレート、オクチルメタクリレー ト、オクチルアクリルアミド、オクチルメタクリルアミ ド、デシルアクリレート、デシルメタクリレート、デシ ルアクリルアミド、デシルメタクリルアミド、ドデシル アクリレート、ドデシルメタクリレート、ドデシルアク リルアミド、ドデシルメタクリルアミド、テトラデシル アクリレート、テトラデシルメタクリレート、テトラデ シルアクリルアミド、テトラデシルメタクリルアミド、 ヘキサデシルアクリレート、ヘキサデシルメタクリレー ト、ヘキサデシルアクリルアミド、ヘキサデシルメタク リルアミド、オクタデシルアクリレート、オクタデシル メタクリレート、オクタデシルアクリルアミド、オクタ デシルメタクリルアミド等を好ましく挙げられる。化3 で表されるテローゲンとしては、Xがシリカゲルと直接 反応し、結合しうる官能基であり、Yが連鎖移動定数の 高い官能基が用いられる。XとYをつなぐスペイサーの アルキル鎖長 (p) はとくに限定されないが、実質上、 pが2~6のものが合成可能である。このような条件を 満たす化3で表されるテローゲンとしては、3ーメルカ プトプロピルトリメトキシシランを好ましく挙げられる が、シリカゲルを予めアミノ化した粒子に対しては、3

ーメルカプトブタン酸や5ーメルカプトへキサン酸などが、またシリカゲルを予めカルボキシル化やヒドロキシル化した粒子に対しては、3ーメルカプトプロピルアミンや6ーメルカプトへキキシルアミンなどが挙げられる

【0014】本発明において、化1で表される重合物の

重合度は少なくとも2~200でなければならない。好 ましくは5~50の重合度が適しており、重合度5~5 0の重合物では側鎖であるR2がよく分子配向し、結果 として良好な分離能が得られる。重合度51~200の 重合物も良く分子配向するが、一個の分子中の化1中の 残基Xの割合が低下し、シリカゲルとの反応性が悪くな る。重合度201以上の重合物では、残基Xの割合が著 しく低下するだけでなく、溶解性も減少するので、実質 上、シリカゲルへの結合が不可能となる。重合度の調節 は、3-メルカプトプロピルトリメトキシシランのごと く髙い連鎖移動定数を有するメルカプト基をもつテロー ゲンを利用する場合には、テローゲンとタクソーゲンの 混合モル比を調整することによって容易に達成できる。 【0015】本発明において、化1で表される重合物を 20 シリガゲル粒子に担持させる方法は、大別して2通りあ る。化1で表される重合物のXがトリメトキシシリル基 のように、直接シリガゲルのシラノール残基と反応しう る場合には、有機溶媒中にシリカゲルと担持させる重合 物を混合し、緩やかにかき混ぜながら60~80℃で1 2時間程度保つことによって重合物をシリカゲルに結合 させることができる。有機溶媒としては、四塩化炭素、 クロロホルム、テトラヒドロフラン、ジオキサンなどが 使用できる。一方、化1で表される重合物のXがカルボ キシル基を含む場合には部分アミノ化シリカゲルを用 い、また、化1で表される重合物のXがアミノ基やヒド ロキシル基を含む場合には部分カルボキシル化シリカゲ

【0016】本発明の逆相分配クロマトグラフィー用充填剤は、分離性能を高めるために、担体となるシリカゲルは多孔質球状粒子であることが好ましい。この場合、球径は分離の目的に強く依存するが、分析を主とする利用の場合には、直径が数μm~10μmであり、粒度分布の狭いものが利用される。一方、高速大量分取を主とする利用の場合には、クロマトグラフィーにおける高流速特性を考慮して、より大きな粒径の粒子、例えば数10μmのものが利用される。

ルを用いて、通常の縮合法により重合物をシリカゲルに

結合させることができる。縮合剤としては、ジシクロへ

キシルカルボジイミドやジエチルリン酸シアニドなどが

【0017】本発明の逆相分配クロマトグラフィー用充 填剤は、通常の逆相分配クロマトグラフィー用シリカゲ ル系充填剤と同様にカラムに充填する方法等によって用 いることができる。

[0018]

使用できる。

5

【本発明の効果】本発明の逆相分配クロマトグラフィー 用充填剤は、芳香族性をもたない高度に分子配向した非 極性相をシリカゲル上に担持させているため、従来の逆 相分配クロマトグラフィー用充填剤と同様な分離を達成 すると共に、非極性相の分子配向性を利用した分子の形 状を識別する逆相分配クロマトグラフィーを提供するこ とができる。更に、担持された非極性相は芳香族性を有 しないために、溶質分子との好ましくないπーπ相互作 用を示さない。更に、担持された非極性相は重合物であ り、かつ同重合物の片方の末端がシリカゲルに結合した 10 しているため柔軟性を有し、そのため温度に伴う分子配 向度の変化を示す。この分子配向度の変化を利用する と、溶質の保持時間を制御することができ、従って、過 剰保持を示すような溶質においても、特殊なグラジエン ト溶出法を使用することなく、温度を調節することによ って分析時間を短縮することができる。

[0019]

6

【実施例】以下、本発明を実施例、試験例及び比較例に より更に詳細に説明するが、本発明はこれらに限定され るものではない。

【0020】実施例1

ルアクリレート(タクソーゲン)と3-メルカプトプロピルトリメトキシシラン(テローゲン)をエタノールとともに入れて、窒素ガスを導入しながら10分間かきまぜた。次にアゾピスイソブチロニトリルを開始剤として加え、窒素ガス雰囲気下、80℃、6時間の条件で、表1に示すテローゲンとタクソーゲンの仕込み比においてラジカルテロメリゼーションを行った。 室温まで放冷し、G-5ガラスフィルター上で析出物をろ別し、メタノール、アセトンで十分に洗浄、減圧乾燥させて、目的とする重合物を得た。同重合物を以下、ODAnと略す。尚、この略号において、nは平均重合度を表す。

[0021]

【表1】

			東	28		
	1	2	3	4	5	9
テローゲン	3-1447-17	3-4M17 17 0	3-1447-17-0	3-347-17"	3-48/17 17 0	3-1117 17 0 3-1117 17 0
	と、かりメトキシジラン	と。かトリメトキシンラン	と。ルトリメトキシシラン	と。ルトリメトキシシテン	と。ルトリメトキシシラン	ピあトリメトキシシラン と゚かトリメトキシンラン
(重量部)	(18)	(3)	(2)	(3)	(0.5)	(2.5)
タクソーゲン	オクタテ・シル	オクタデッシル	1797°31	7.41	1.7.34	1995°3/4
	7711V-F	7791-1	77/11/-1	77917-1	1-16465	APPINTEL"
(重量部)	(75)	(75)	(100)	(50)	(55)	(125)
(成如	エタノール	エタノール	エタノール	メタノール	エタノール	エタノール
(重量部)	(800)	(640)	(640)	(500)	(200)	(096)
重合温度	8 0	8 0	8 0	0 9	8 0	8 0
(,c)						
瓜合時間	9	9	6	9	9	1.2
(hr)						
重合体収置	7.2	7.0	8 5	1 8	4 9	120
(重量部)		•••				
重合 废	24.8	36.4	70.5	19.8	71.2	20.5
10.1 50 H ch		,	6	000		- 1
和表を追及 (*C)	გ. ე	51. C	52.0	0 2 ->		6 2. 5
略号	ODA25	ODA36	ODA,,	BA10	DDMA,	ODMAA29

【0022】得られたODAnを重クロロホルムに溶かし、H-NMRにより平均重合度nを決定した。また、示差走査熱量分析により、ODAnの相転移温度を決定した。得られたODAnとシリカゲル(乾燥状態)を表2に示した混合比で四塩化炭素と共に三つ口丸底フラスコに入れた。これに撹拌シールと還流冷却管を付し、8 50

○℃の油浴に入れ、12時間撹拌した。撹拌終了後、G 5ガラスフィルターで回収し、四塩化炭素で洗浄した 後、ろ取によってODAnを担持したシリカゲルを得 た。元素分析により担持量を決定し、赤外吸収スペクト ル及び示差走査熱量分析により、担持物の構造を確認し

10

*【表2】

[0023]

1 4 5 6 デロマー ODA ₂₅ BA ₂₀ DDMA ₇₁ ODMMA ₂₀ (重量部) (20) (30) (50) (68) (50) (68) シリカゲル (重量部) (12) (15) (30) (25) 商剤 回塩化炭素 四塩化炭素 クロロホルム クロロホルム (重量部) (240) (240) (800) (2380) 反応温度 80 80 60 60 (つ) (12) 反応時間 6 12 12 12 (hr) (市r) (前量部) 3.2 4.2 7.5 4.1 (積積量 3.2 4.2 7.5 粒子D				東	插包		
- ODA25 BA20 DDMA7,1 部 (20) (30) (50) デル (12) (15) (30) 町塩化炭素 四塩化炭素 クロロホルム 野 (240) (800) 乾 80 60 町 6 12 町 6 12 12 町 4・2 7・5 田 粒子A 粒子B 粒子C		1	4	5	9	7	1 0
ボル (20) (30) (50) (50) (12) (15) (30) (340) (240) (240) (800) (240) (800) (240) (800) (240) (800) (240) (800) (240) (800) (240) (800) (240) (テロマー	ODAzs	BAzo	DDMA,,	ODMMA 20	AODA20	CODAs7
ボル (12) (15) (30) 四塩化炭素 四塩化炭素 クロロホルム 町 (240) (800) 重 80 60 町 6 12 12 第3.2 4.2 7.5 取 粒子A 粒子B 粒子C	(重量部)	(50)	(30)	(20)	(89)		(09)
部 (12) (15) (30) 四塩化炭素 四塩化炭素 クロロホルム (240) (800) 野 (240) (800) 重 80 60 町 6 12 第 12 12 田 3.2 4.2 7.5 田 粒子A 粒子B 粒子C	シリカゲル						
関値化炭素 回塩化炭素 クロロホルム (240) (240) (800) 変 80 60 町 6 12 12 部 4.2 7.5 (3) 4.2 7.5 (3) 4.2 7.5 (4) 4.2 7.5 (5) 4.2 7.5 (6) 4.2 7.5 (7) 44-5 47-5	(重量部)	(12)	(15)	(30)	(25)	(15)	(30)
筋 (240) (240) (800) ぎ 80 60 6 間 6 12 12 筋) 3.2 4.2 7.5 4 筋) 粒子A 粒子B 粒子C 準	英2	四塩化炭素	四塩化炭素	クロロホルム	クロロホルム	F1961 0752 F1961 0732	テトラとト・ロフラン
重 80 60 間 6 12 12 3.2 4.2 7.5 (所) 粒子A 粒子B 粒子C	(重量部)	(240)	(240)	(800)	(2380)	(2380	(4800)
問 6 12 12 3.2 4.2 7.5 (A) A) A)	反応温度	8 0	8.0	0 9	0 9	3.0	3.0
間 6 12 12 3.2 4.2 7.5 (A) A) A	(3.)						
3.2 4.2 7.5 (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (C)	反応時間	9	1 2	1.2	1.2	4 8	4 8
(A) (A) (B) (B) (B) (B) <td>(h r)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	(h r)						
<u> </u>	担持量	3. 2	4.2	7.5	4. 1	3.9	4.2
号 粒子A 粒子B 粒子C	(原配部)						
	1	粒子A	粒子B	粒子に	粒子D	粒子臣	粒子丘

【0024】実施例2~6

等を表1に示す通り変えた以外は、実施例1と同様な方 法で目的とする重合物を得た。重合物の略号は使用した タクソーゲンの種類によって作成し、表1中に示した。 尚、この略号において、nは平均重合度を表す。重合物 のシリカゲル上への担持は、実施例1と同様な方法で重 合物をシリカゲルに担持させた。

【0025】実施例7

タクソーゲンの種類及びその仕込み比、溶媒、反応温度 40 テローゲンの種類及びその仕込み比、溶媒、反応温度等 を表3に示す通り変えた以外は、実施例1と同様な方法 で目的とする重合物を得た。重合物の略号は使用したテ ローゲンの種類によって作成し、表3中に表した。尚、 この略号において、nは平均重合度を表す。

[0026]

【表3】

		爽 施	例	
	7	8	9	1 0
テローゲン	3-メルカフ・トフ・ロ	3-メルカフ・トフ・ロ	3-メルカフ・トフ・ロ	3-メルカフ・トフ・ロヒ・
	t*ルアミン	ヒ・ルアミン	ヒ・ルアミン	ルフ・タン酸
(重量部)	(3)	(8.5)	(2)	(2)
タクソーゲン	オクタテ・シル	オクタテ・シル	オクタテ・シル	オクタテ・シル
	7クリレート	アクリレート	7クリレート	7クリレート
(重量部)	(50)	(70)	(100)	(100)
溶剤	エタノール	ペンゼン	ベンゼン	エタノール
(重量部)	(400)	(870)	(870)	(800)
瓜含温度	8 0	7 5	7 5	8 0
(°C)				j
重合時間	6	1 2	1 2	6
(hr)			{	
亚合体収量	3 6	77	7 2	5 4
(抵置部)		}		
重 合 度	19.7	8. 0	42.7	57.3
相転移温度	> 8 0	42.2	50.1	50.3
(°C)				
略 号	AODA20	AODA ₈	AODA,	CODA _{5.7}

【0027】得られた重合物と部分アミノ化シリカゲル (乾燥状態) を表2に示した混合比でテトラヒドロフラ ンと共に三つ口丸底フラスコに入れた。これにジジクロ ヘキシルカルボジイミドを加え、撹拌シールと還流冷却 30 管を付し、室温で24時間撹拌した。撹拌終了後、G5 ガラスフィルターで回収し、テトラヒドロフランで洗浄 した後、ろ取によって重合物を担持したシリカゲルを得 た。元素分析により担持量を決定し、赤外吸収スペクト ル及び示差走査熱量分析により、担持物の構造を確認し た。

【0028】実施例8~10

テローゲンの種類及びその仕込み比、溶媒、反応温度等 を表3に示す通り変えた以外は、実施例1と同様な方法 で目的とする重合物を得た。重合物の略号は使用したテ 40 ローゲンの種類によって作成し、表3中に示した。尚、 この略号において、 n は平均重合度を表す。重合物のシ リカゲル上への担持は、重合物とシリカゲルの混合比お よび反応溶媒、温度等を表2に示す通り変えた以外は、 実施例7と同様な方法で重合物をシリカゲルに担持させ

【0029】試験例1

粒子D3.3g(乾燥状態)、1-ヘキサノール15 ml、クロロホルム 15mlを100mlピーカーに 入れ、超音波洗浄器を用いて約15分間分散させた。こ 50 環芳香族性化合物としてベンゼン、ナフタレン、アント

れを直径4.6mm、長さ30cmのステンレスカラム に接続したパッカーに入れ、空隙を1-ヘキサノールと クロロホルムの混合溶媒 (1:1) で満たした後、流速 8 m 1 / m i n でクロロホルムを流した。圧力が450 kg/cm²になるように流速を調整し、さらに30分 間同圧力でロロホルムを流した。カラムをパッカーから 外しフィルターを付け、流速1ml/minで100m 1のクロロホルム、100m1のメタノールを流して充 填を完了した。サンプルとしてベンゼン、エチルベンゼ ン、ブチルベンゼン、ヘキシルベンゼン、オクチルベン ゼンを用い、溶離液にメタノール/水(9:1)として 液体クロマトグラフィーを実施した。 図1に示すよう に、すべてのサンプルが完全に分離したクロマトグラム を得た。

【0030】試験例2

粒子Aを試験例1と同様な方法でカラムに充填した後、 サンプルとして非平面性のoーテルフェニルと平面性の トリフェニレンを用い、溶離液にメタノールを用いて液 体クロマトグラフィーを実施した。 図2に示すように、 2つのサンプルが完全に分離したクロマトグラムを得 た。分離能の尺度となるα値は4.5であった。

【0031】試験例3

試験例2で作製したカラムについて、サンプルとして多

ラセン、ピレン、トリフェニレンを用い、溶離液にメタ ノールを用いて液体クロマトグラフィーを実施した。図 3に示すように、好ましくないピークテーリングはな く、すべてのサンプルが完全に分離できることを確認し た。

【0032】試験例4

試験例2で作製したカラムについて、サンプルとしてアントラセンとトリフェニレンを用い、溶離液にメタノールを用いて温度を変えて液体クロマトグラフィーを実施した。その結果、保持時間に対する特殊な温度依存性を示すグラフ(図4)を得た。尚、保持時間が著しく変化する温度が、担持した非極性相の相転移温度に一致することを確認した。

【0033】比較例1

市販の逆相分配クロマトグラフィー用充填剤としてOD Sを用い、試験例4と同様な検討を行なった。 o-テルフェニルとトリフェニレンの分離能α値はわずか1. 4 であった。

【0034】比較例2

市販の逆相分配クロマトグラフィー用充填剤としてOD 20 Sを用い、試験例3と同様な検討を行なった。保持時間 に対する直線的な温度依存性を示すグラフ(図5)を得

た。尚、使用したODSは、測定温度範囲内でまったく 相転移挙動を示さないことを示<u>差走査</u>熱量分析により確 認した。

14

【図面の簡単な説明】

【図1】粒子Dを用い、ベンゼン、エチルベンゼン、ブチルベンゼン、ヘキシルベンゼン、オクチルベンゼンの混合物の分離を試験した試験例1におけるクロマトグラムを示す。

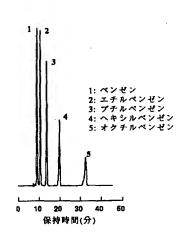
ルを用いて温度を変えて液体クロマトグラフィーを実施 【図2】粒子Aを用い、o-ターフェニルとトリフェニ した。その結果、保持時間に対する特殊な温度依存性を 10 レンの混合物の分離を試験した試験例2におけるクロマ 示すグラフ(図4)を得た。尚、保持時間が著しく変化 トグラムを示す。

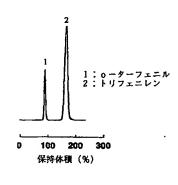
【図3】粒子Aを用い、ベンゼン、ナフタレン、アントラセン、ピレン、トリフェニレンの混合物の分離を試験した試験例3におけるクロマトグラムを示す。

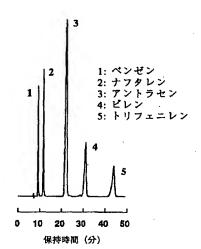
【図4】試験例4において、粒子Aのアントラセン及びトリフェニレンに対する保持能を温度に対してプロットした結果を示す。図中のTcは粒子Aの相転移温度を示す。

【図5】比較例2において、ODSのアントラセン及び トリフェニレンに対する保持能を温度に対してプロット した結果を示す。

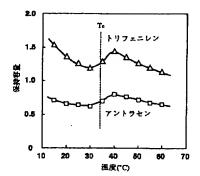
[図1] (図2) (図3)



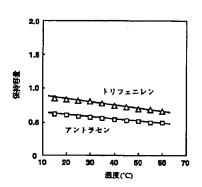




【図4】



【図5】



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

07-005161

(43)Date of publication of application: 10.01.1995

(51)Int.CI.

G01N 30/48 C08L 83/10

(21)Application number: 04-326039

(71)Applicant:

HIRAYAMA CHUICHI

(22)Date of filing: 10.11.1992

(72)Inventor:

IHARA HIROTAKA HIRAYAMA CHUICHI

IHARA HIROTAKA MUKAI TATSUYA

IHARA HIR

(54) FILLER FOR HIGH PERFORMANCE LIQUID CHROMATOGRAPHY

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a filler for reversed phase distribution chromatography for identifying the molecular profile without using the nonpolar aromaticity by a constitution wherein a copolymer, which can be represented by a chemical structural formula, is bonded to a silica gel through terminal X.

CONSTITUTION: The filter for reverse phase distribution chromatography has no aromaticity and accomplishes separation by carrying the nonpolarity of high molecular orientation on a silica gel. Consequently, a reversed phase chromatography for identifying the molecular profile through the use of molecular orientation of nonpolar phase is obtained. Since the nonpolar phase being carried has no aromaticity, undesired π—π interaction with salute molecule does not take place. Furthermore, since the nonpolar phase to be carried is a copolymer having a functional group X at one end thereof coupled with the silica gel, flexibility is provided and the extent of molecular orientation varies with the temperature. The holding time of solute can be controlled according to the variation of molecular orientation and the temperature is regulated to shorten the time required for analysis.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

09.11.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

- 1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
- 2. **** shows the word which can not be translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

CLAIMS

[Claim(s)]

[Claim 1] The silica gel particle which the polymer which consists of a general formula (** 1) combined through X of an end.

[Claim 2] The particle according to claim 1 which n in ** 1 becomes from 2-200.

[Claim 3] The particle according to claim 1 whose m R2 in ** 1 is 3-21 at least including three mCH(s) (CH2) in the

chemical structure.
[Claim 4] The particle according to claim 1 whose R1 in ** 1 is a hydrogen atom or a methyl group.

[Translation done.]

** means Formula.

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.

2.**** shows the word which can not be translated.

3.In the drawings, any words are not translated.

DETAILED DESCRIPTION

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Industrial Application] this invention relates to the new bulking agent for reversed phase partition chromatographies.

[0002]

[Description of the Prior Art] Generally, in analysis of an organic compound, physic, food, etc., separation, etc., it goes across liquid chromatography broadly and it is used. Especially a reversed phase partition chromatography has the wide range of the target compound, and the mechanism of separation attracts attention as a method excellent in eye a simple hatchet. As a bulking agent for the conventional reversed phase partition chromatographies, the bulking agent un-polarized by the octyl machine or the octadecyl machine, for example in the silica gel front face is known.

[00003]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] However, in a bulking agent like the aforementioned silica gel particle, since separation was performed only using the polar difference between the nonpolar phases and elution phases which were introduced on silica gel, when the polarity of the quality of a separation object was mutually similar, there was a fault which cannot attain good separation. Moreover, the superfluous maintenance to a bulking agent was observed, in order to shorten analysis time in this case, the special separation operation called gradient elution was needed for the case where the polarity of the quality of a separation object differs remarkably, or the low case, and there was also a

trouble that operation became complicated in them.

[0004] On the other hand, it considers as the method of un-polarizing silica gel, and the example which introduced the molecule with upright aromaticity like a biphenyl machine is reported, and in this case, separation discriminates the aromaticity of not only a polar difference but a molecule, and the difference of a configuration, and is performed. However, generally, the aromaticity of a bulking agent causes peak tailing in a chromatography, and is made not desirable. For example, the styrene-divinylbenzene copolymer particle with high aromaticity is known as a bulking agent for liquid chromatography, and the use as a bulking agent for reversed phase partition chromatographies of a certain thing is extremely limited for the use as an ion exchanger or a bulking agent for gel permeation chromatographies. This is because peak tailing based on the pi-pi interaction between the aromaticity of a styrene-divinylbenzene copolymer and the pi electron of a solute often poses a problem.

[0005] The purpose of this invention is to offer the bulking agent for reversed phase partition chromatographies which discriminates the configuration of a molecule, without using the nonpolar phase of aromaticity. This is attained when the nonpolar phase supported by silica gel has molecular orientation nature. The nonpolar phase supported is a polymerization object and another purpose of this invention is to offer the bulking agent which the end of one of the

two of this polymerization object combined with silica gel.

[Means for Solving the Problem] According to this invention, it is a general formula (** 1).

[Formula 1] (R1 shows a hydrogen atom or a methyl group among a formula.) R2 — at least (CH2) — mCH3 containing -- m -- 3-21 -- 8-21 are shown preferably n -- 2-200 -- 5-50 are shown preferably The bulking agent for reversed phase partition chromatographies which the polymerization object expressed combined with silica gel through X of an end is offered.

[0007] Hereafter, this invention is explained still in detail. The bulking agent for reversed phase partition chromatographies of this invention is a bulking agent with which the polymerization object which can express with **

1 is obtained by making it combine with silica gel through X of an end.

[0008] R1 in ** 1 is a hydrogen atom or a methyl group. R2 is a substituent containing the alkyl group to carbon numbers 4-22. Since the hydrophobic property is too small when the carbon number of the above R2 is less than four, maintenance capacity becomes small as a bulking agent for reversed phase partition chromatographies, and separability ability is not bad desirable. Moreover, although the molecular orientation nature between R2 becomes high and separability also becomes high as a result so that a carbon number is large, acquisition of a raw material is difficult, since the above R2 has the too high melting point, it has problems -- it is hard to obtain a polymerization object -- and a 23 or more-carbon number compound is deficient in it to practicality. As R2 expressed with the aforementioned general formula (** 1) For example, a butyloxy machine, a hexyloxy machine, an octyloxy machine, a decyloxy machine, A dodecyloxy machine, a tetradecyl oxy-basis, a hexadecyl oxy-basis, The ester residues and butylamino machines of long-chain alcohol, such as an octadecyloxy machine, A hexylamino machine, the octyl amino group, the desyl amino group, a dodecylamino machine, The amide residue by long-chain amines, such as a tetradecyl amino group, a hexadecyl amino group, and an octadecylamino machine, etc. can be mentioned preferably, and it can use as independent or mixture on the occasion of use.

[0009] As for X in ** 1, what is a functional group for combining with silica gel the polymerization object expressed with ** 1, for example, reacts with direct silica gel like a propyl trimethoxysilyl machine, and is combined is good. However, the substituent which contains silica gel, and contains a carboxyl group, and a hydroxyl and the amino group in Above X beforehand when having hydroxylated, amination or the carboxylation, and can be used, and the polymerization object expressed with ** 1 in this case using a condensing agent like a dicyclohexylcarbodiimide can be combined with silica gel. If especially Y in ** 1 is a residue which does not affect a chromatography property, it will not interfere, and a hydrogen atom is mentioned preferably.

[0010] In this invention, the polymerization object expressed with ** 1 makes TAKUSOGEN the monomer expressed with ** 2 which fulfills the conditions of the above R1 and R2 </SUB> the simplest, and is obtained by the

telomerization method using the telogen expressed with ** 3. [0011]

[Formula 2] CH2=C(R1) CO-R2 [0012]

[Formula 3] X-(CH2) p-Y [0013] As TAKUSOGEN expressed with ** 2 which fulfills the conditions of the above R1 and R2 Butyl acrylate, butyl methacrylate, a butyl acrylamide, Butyl methacrylamide, hexyl acrylate, hexyl methacrylate, A hexyl acrylamide, hexyl methacrylamide, octyl acrylate, Octyl methacrylate, an octyl acrylamide, octyl methacrylamide, Decyl acrylate, desyl methacrylate, a desyl acrylamide, Desyl methacrylamide, dodecylacrylate, dodecyl methacrylate, A dodecyl acrylamide, dodecyl methacrylamide, tetradecyl acrylate, Tetradecyl methacrylate, a tetradecyl acrylamide, tetradecyl methacrylamide, Hexadecyl acrylate, hexadecyl methacrylate, a hexadecyl acrylamide, Hexadecyl methacrylamide, octadecyl acrylate, octadecyl methacrylate, an octadecyl acrylamide, octadecyl methacrylamide, etc. can be mentioned preferably. As a telogen expressed with ** 3, X carries out a direct reaction to silica gel, it is the functional group which can be combined and the high functional group of a chain transfer constant is used for Y. Although especially the alkyl chain length (p) of the spacer which connects X and Y is not limited, p can compound the thing of 2-6 on parenchyma. As a telogen expressed with ** 3 which fulfills such conditions, although 3-mercapto propyltrimethoxysilane can be mentioned preferably, to the particle which aminated silica gel beforehand, 3-mercapto butanoic acid, 5-mercapto hexanoic acid, etc. are beforehand mentioned for 3-mercapto propylamine, 6-mercapto HEKIKI sill amine, etc. to the carboxylation or the hydroxylated particle again in silica gel.

[0014] In this invention, the polymerization degree of the polymerization object expressed with ** 1 must be 2-200 at least. The polymerization degree of 5-50 is preferably suitable, by the polymerization object of polymerization degree 5-50, R2 which is a side chain improves molecular orientation, and separability good as a result is obtained. Although molecular orientation is also improved the polymerization object of polymerization degree 51-200, the rate of the residue X in ** 1 in the molecule of a piece falls, and reactivity with silica gel becomes bad. By the with a polymerization degree of 201 or more polymerization object, since solubility also decreases, the rate of Residue X not only falls remarkably, but becomes uncombinable to silica gel on substance. Regulation of polymerization degree can be easily attained by adjusting the mixed mole ratio of a telogen and TAKUSOGEN, when using a telogen with the sulfhydryl group which has a chain transfer constant high like 3-mercapto propyltrimethoxysilane. [0015] In this invention, the method of making a SHIRIGAGERU particle supporting the polymerization object expressed with ** 1 is divided roughly, and there are two kinds. When X of a polymerization object expressed with ** 1 can react with the silanol residue of direct SHIRIGAGERU like a trimethoxysilyl machine, a polymerization object can be combined with silica gel by mixing with silica gel the polymerization object made to support, and keeping it loose at 60-80 degrees C with scrambling into an organic solvent, for about 12 hours. A carbon tetrachloride, chloroform, a tetrahydrofuran, a dioxane, etc. can be used as an organic solvent. When X of a polymerization object expressed with ** 1 on the other hand, using partial amination silica gel when X of a polymerization object expressed with ** 1 contains a carboxyl group contains the amino group and a hydroxyl, a polymerization object can be combined with silica gel by the usual condensing method using partial carboxylation silica gel. A dicyclohexylcarbodiimide, a diethyl phosphoric-acid cyanide, etc. can be used as a condensing agent.

[0016] In order that the bulking agent for reversed phase partition chromatographies of this invention may raise separability ability, as for the silica gel used as support, it is desirable that it is a porosity spherical particle. In this case, although a spherical diameter depends for the purpose of separation strongly, in the use which is mainly concerned with analysis, a diameter is several micrometers - 10 micrometers, and the narrow thing of particle size distribution is used. On the other hand, in the use which is mainly concerned with high-speed extensive preparative isolation, in consideration of the high rate-of-flow property in a chromatography, the particle of a bigger particle size,

for example, several 10-micrometer thing, is used.

[0017] The bulking agent for reversed phase partition chromatographies of this invention can be used by the method of filling up a column like the usual silica gel system bulking agent for reversed phase partition chromatographies etc.

[0018]

[Effect of the Invention] It can offer the reversed phase partition chromatography which discriminates the configuration of a molecule where the molecular orientation nature of a nonpolar phase was used while it attains the same separation as the conventional bulking agent for reversed phase partition chromatographies, since the bulking agent for reversed phase partition chromatographies of this invention is making the nonpolar phase without aromaticity which carried out molecular orientation highly support on silica gel. Furthermore, since the supported nonpolar phase does not have aromaticity, it does not show the pi-pi interaction with a solute molecule which is not desirable. Furthermore, the supported nonpolar phase is a polymerization object, and since the end of one of the two of this polymerization object combined and makes it silica gel, it has flexibility, therefore it shows change of the degree of molecular orientation accompanying temperature. Analysis time can be shortened by adjusting temperature, without using special gradient melting also in a solute as can control the holding time of a solute, therefore shows superfluous maintenance, if change of this degree of molecular orientation is used.

[0019] [Example] Hereafter, although an example, the example of an examination, and the example of comparison explain this

invention still in detail, this invention is not limited to these.

[0020] An example 1 RUAKURI rate (TAKUSOGEN) and 3-mercapto propyltrimethoxysilane (telogen) were put in with ethanol, and it stirred for 10 minutes, introducing nitrogen gas. Next, the azobisisobutyronitril was added as an initiator and radical telomerization was performed in the preparation ratio of the telogen shown in Table 1, and TAKUSOGEN on 80 degrees C and the conditions of 6 hours under nitrogen gas atmosphere. It cooled radiationally to the room temperature, the sludge was carried out the ** exception on the G-5 glass filter, and washing and the polymerization object which is made to carry out reduced pressure drying and is made into the purpose were fully obtained with the methanol and the acetone. This polymerization object is hereafter abbreviated to ODAn. In addition, in this cable address, n expresses average degree of polymerization.

[0021] [Table 1]

			来施	(94)		
	1	2	3	4	5	9
テローゲン	3-メルカフ・トフ・ロ	3-11/17 17 0	3-11/17-17"0	3-11/17 170	3-メルカフ。トア。ロ	3-XM17° 17° D
	と。ルトリメトキシンラン	と。ルトリメトキシンラン	と。ルトリメトキシンテン	と。ルトリメトキシシテン	と。ルトリメトキシシラン	と。ルトリメトキシシラン と。ルトリメトキシシラン
(延重頭)	(18)	(3)	(2)	(3)	(0.5)	(2.5)
タクソーゲン	オクサテ・シル	オクタデ・シル	オクタデンル	7.41/	1. 7. 3h	オクタテ・シル
	7011-1	77111-1	77111-1	1-1/14	147111-1	メタクリルアミト・
(重量部)	(75)	(75)	(100)	(20)	(55)	(125)
答刘	エタノール	エタノール	エタノール	メタノード	エタノール	エタノール
(重量部)	(800)	(640)	(640)	(200)	(200)	(096)
重合温度	8 0	8 0	0 8	0 9	8 0	8 0
(0.)						
正合時間	9	9	6	9	9	1 2
(hr)				8		
亚合体収量	7.2	7.0	8 5	1 8	4 9	120
(重量部)						
● の 政	24.8	36.4	70.5	19.8	71.2	20.5
相転移温度 (°C)	45.9	51.0	52.0	<-20	5.5	62.5
略号	ODA ₂₅	ODA36	ODA,,	BA20	DDMA,,	ODMAA20

[0022] Obtained ODAn was melted with heavy chloroform and H-NMR determined average degree of polymerization n. Moreover, differential scanning calorimetric analysis determined the phase transition temperature of ODAn. It put into the 3 mouth round bottom flask with the carbon tetrachloride with the mixing ratio which showed obtained ODAn and silica gel (dryness) in Table 2. The churning seal and the reflux cooling pipe were given to this, and it put into the 80-degree C oil bath, and agitated for 12 hours. It collected by G5 glass filter after the churning end, and after the carbon tetrachloride washed, the silica gel which supported ODAn by **** was obtained. Elemental analysis determined the amount of support and the structure of a support object was checked by the infrared absorption spectrum and differential scanning calorimetric analysis. [0023]

Tab	le 2] 			_	Т		τ		1·····		T		
	1 0	CODA,	(09)		(30)	テトラとト・ロフラン	(4800)	3.0		4 8		4. 2		粒子F
	7	AODA ₂₀	(30)		(15)	ナトラヒト・ロフラン	(2380	3.0		4 8		3.9		粒子臣
£ (34)	9	ODMMA 20	(89)		(25)	クロロホルム	(2380)	0 9		1.2		4. 1		粒子D
実施	5	DDMA,	(20)		(30)	クロロホルム	(800)	0 9		1.2		7. 5		粒子C
	4	BA20	(30)		(15)	因塩化炭素	(240)	8 0		1 2		4. 2		粒子B
	1	ODA25	(50)		(12)	四塩化炭素	(240)	8 0		9		3. 2		粒子A
		テロマー	(重量部)	シリカゲル	(距离弧)	浴剤	(重重歌)	反応温度	(, C)	反応時間	(h r)	担持量	(重量部)	略号

[0024] The polymerization object made into the purpose by the same method as an example 1 was obtained except having changed as the kind of an example 2 ~ 6 taxi sow gene and its preparation ratio, a solvent, reaction temperature, etc. were shown in Table 1. the cable address of a polymerization object — use — taxi the bottom — a sow — a gene — it created according to the kind and was shown all over Table 1 In addition, in this cable address, n expresses average degree of polymerization. Support of a up to [the silica gel of a polymerization object] made silica gel support a polymerization object with the same method as an example 1.

[0025] The polymerization object made into the purpose by the same method as an example 1 was obtained except having changed as the kind of example 7 telogen and its preparation ratio, a solvent, reaction temperature, etc. were shown in Table 3. The cable address of a polymerization object was created according to the kind of used telogen, and was expressed all over Table 3. In addition, in this cable address, n expresses average degree of polymerization. [0026]

[Table 3]

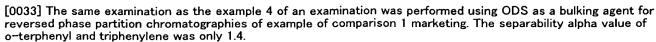
		atr th	例	
		施		
	7	8	9	1.0
テローゲン	3-メルカフ。トフ。ロ	3-メルカフ゜トフ゜ロ	3-メルカフ゜トフ゜ロ	3-メルカフ。トフ。ロヒ。
	ヒ゜ルアミン	と"ルアミン	ヒ゜ルアミン	ルプ・タン酸
(重量部)	(3)	(8.5)	(2)	(2)
タクソーゲン	オクタテ゛シル	オクタテ・シル	オクタテ゛シル	オクタテ・シル
	7クリレート	フクリレート	7クリレート	7クリレート
(重量部)	(50)	(70)	(100)	(100)
溶剤	エタノール	ベンゼン	ベンゼン	エタノール
(重量部)	(400)	(870)	(870)	(800)
重合温度	8 0	7 5	7 5	8 0
(°C)				
重合時間	6	1 2	1 2	6
(h r)				
亚合体収 显	3 6	7 7	7 2	5 4
(重量部)				
重 合 度	19.7	8. 0	42.7	57.3
相転移温度	> 8 0	42.2	50.1	50.3
(°C)				,
略 号	AODA20	AODA ₈	AODA	CODA ₅₇

[0027] It put into the 3 mouth round bottom flask with the tetrahydrofuran with the mixing ratio which showed the obtained polymerization object and partial amination silica gel (dryness) in Table 2. The JIJIKURO hexyl carbodiimide was added to this, the churning seal and the reflux cooling pipe were attached, and it agitated at the room temperature for 24 hours. It collected by G5 glass filter after the churning end, and after washing by the tetrahydrofuran, the silica gel which supported the polymerization object by **** was obtained. Elemental analysis determined the amount of support and the structure of a support object was checked by the infrared absorption spectrum and differential scanning calorimetric analysis.

[0028] The polymerization object made into the purpose by the same method as an example 1 was obtained except having changed as the kind of eight to example 10 telogen and its preparation ratio, a solvent, reaction temperature, etc. were shown in Table 3. The cable address of a polymerization object was created according to the kind of used telogen, and was shown all over Table 3. In addition, in this cable address, n expresses average degree of polymerization. Support of a up to [the silica gel of a polymerization object] made silica gel support a polymerization object with the same method as an example 7 except having changed as the mixing ratio of a polymerization object and silica gel and a reaction solvent, temperature, etc. were shown in Table 2.

[0029] Example of examination 1 particle D3.3g (dryness), 1-hexanol 15ml, chloroform 15ml was put into 100ml beaker, and it was made to distribute for about 15 minutes using an ultrasonic washer. After putting into the packer which connected this to the stainless steel column with a diameter [of 4.6mm], and a length of 30cm and filling an opening with the mixed solvent (1:1) of 1~hexanol and chloroform, chloroform was poured by rate-of-flow 8 ml/min. The rate of flow was adjusted so that a pressure might become 450 kg/cm2, and ROROHORUMU was passed by this pressure for 30 more minutes. The column was removed from the packer, the filter was attached, 100ml chloroform and the 100ml methanol were poured by rate-of-flow 1 ml/min, and restoration was completed. Liquid chromatography was carried out as a methanol/water (9:1) to the eluate, using benzene, ethylbenzene, a butylbenzene, hexyl benzene, and octyl benzene as a sample. As shown in drawing 1, all the samples obtained the chromatogram separated completely. [0030] After filling up the example of examination 2 particle A with the same method as the example 1 of an examination into a column, using o-terphenyl of non-smoothness, and the triphenylene of smoothness as a sample. the methanol was used for the eluate and liquid chromatography was carried out. As shown in <u>drawing 2</u> , two samples obtained the chromatogram separated completely, alpha value used as the scale of separability was 4.5. [0031] About the column produced in the example 2 of example of examination 3 examination, using benzene, naphthalene, an anthracene, a pyrene, and triphenylene as a polycyclic aromaticity compound, as a sample, the methanol was used for the eluate and liquid chromatography was carried out. As shown in drawing 3, there is no peak tailing which is not desirable and it checked that all samples could dissociate completely. [0032] About the column produced in the example 2 of example of examination 4 examination, the methanol was used

for the eluate, temperature was changed, using an anthracene and triphenylene as a sample, and liquid chromatography was carried out. Consequently, the graph (drawing 4) which shows the special temperature dependence to the holding time was obtained. In addition, the temperature from which the holding time changes remarkably checked that it was in agreement with the phase transition temperature of the supported nonpolar phase.



[0034] The same examination as the example 3 of an examination was performed using ODS as a bulking agent for reversed phase partition chromatographies of example of comparison 2 marketing. The graph (<u>drawing 5</u>) which shows the linear temperature dependence to the holding time was obtained. In addition, used ODS checked that phase transition behavior was not shown at all within a measurement temperature requirement by differential scanning calorimetric analysis.

[Translation done.]

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.

2.**** shows the word which can not be translated.

3.In the drawings, any words are not translated.

DESCRIPTION OF DRAWINGS

[Brief Description of the Drawings]

[Drawing 1] The chromatogram in the example 1 of an examination which examined separation of the mixture of benzene, ethylbenzene, a butylbenzene, hexyl benzene, and octyl benzene is shown using Particle D. [Drawing 2] The chromatogram in the example 2 of an examination which examined separation of o-terphenyl and the mixture of triphenylene is shown using Particle A.

[<u>Drawing 3</u>] The chromatogram in the example 3 of an examination which examined separation of benzene, naphthalene, an anthracene, a pyrene, and the mixture of triphenylene is shown using Particle A.

[<u>Drawing 4</u>] In the example 4 of an examination, the result which plotted the maintenance ability to the anthracene and triphenylene of Particle A to temperature is shown. To in drawing shows the phase transition temperature of Particle A.

[Drawing 5] In the example 2 of comparison, the result which plotted the maintenance ability to the anthracene and triphenylene of ODS to temperature is shown.

[Translation done.]